

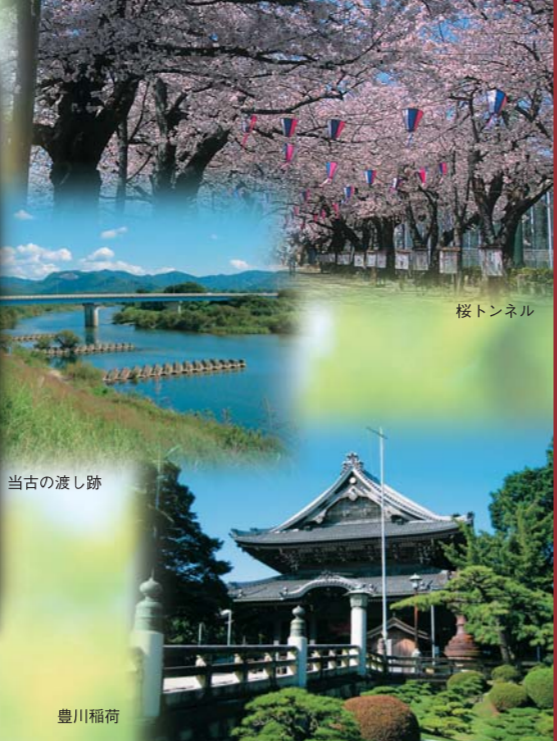


HONKUNI WALKING MAP

徳の国 ウォーキングマップ

〈豊川市東部地区編〉

【豊川市観光課】
〒442-8601 豊川市諏訪一丁目1番地
TEL:0533-99-2140 FAX:0533-99-2125
HP: http://www.city.toyokawa.lg.jp
E-mail: shokoku@city.toyokawa.lg.jp



WALKING COURSE ◎ウォーキングコース

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 距離 3.7km
時間 44分
牛久保のまちコース
牛久保駅
1 今川義元公墓所(大聖寺)
2 八幡社
3 山本勘助の墓(長谷寺)
4 牧野成定公廟
5 善光庵
6 牛久保のナギ(熊野神社)
7 牛久保城跡
牛久保駅 | 2 距離 8.5km
時間 1時間41分
戦国武将コース
豊川駅
1 牧野城跡
2 さぬき屋敷公園
3 瀬木城跡
4 一色城跡
5 一色刑部の墓(大聖寺)
6 今川義元公墓所(大聖寺)
7 八幡社
8 山本勘助の墓(長谷寺)
9 牧野成定公廟
10 牛久保城跡
牛久保駅 | 3 距離 9.7km
時間 1時間57分
豊川コース(とよがわ)
牛久保駅
1 豊川の河岸段丘と清水
2 豊川放水路ゲート
3 羽衣の松
4 霞堤
5 当古橋公園
6 当古の渡し跡(当古橋)
7 木板道(越街道)
豊川駅 | 4 距離 7.5km
時間 1時間31分
豊川稲荷と門前まちコース
豊川駅
1 門前まち(観光案内所)
2 豊川稲荷
3 豊川進雄神社
4 徳城寺
5 みらびき不動(養学院)
6 玉林寺のクス
7 三明寺
豊川駅 | 5 距離 6km
時間 1時間15分
平和コース
諏訪町駅
1 諏訪墓地
2 豊川工業団地
3 平和の像とケヤキ並木
4 桜トンネル
5 桜ヶ丘ミュージアム
6 供養塔
7 豊川稲荷
8 門前まち(観光案内所)
豊川稲荷駅 | 6 距離 11.6km
時間 2時間19分
お花見コース
諏訪町駅
1 桜トンネル
2 開運橋(佐奈川)
3 ふれあい公園・あい橋
4 開運橋(佐奈川)
5 塚橋
6 開運橋(佐奈川)
諏訪町駅 |
|---|---|---|---|---|---|

ウォーキングコース 1

牛久保のまちコース

距離 3.7km
時間 44分

START ▶ 500m 6分

1 今川義元公墓所(大聖寺) 500m 6分
今川義元は、永禄3年(1560)、桶狭間の戦いで織田信長に討たれて首を取られました。今川の家臣たちは首のない胴体だけの義元の遺体を背負い、駿河へ退却する途中、大聖寺の境内にひとまず葬り、手水鉢をその上に墓印として置きました。3年後、義元の嫡子氏真により三周忌が営まれ宝塔が建てられました。

2 八幡社 280m 3分
奈良時代、三河国に大変な飢饉が発生したときに、ときの国司が住民の心のすさぶことを憂い、社殿を建てて仁徳天皇を祭ったのが始まりといわれています。毎年4月7日、8日に近い土、日曜日には、奇祭として知られるうごこ祭(若衆祭)が行われ、山車、籠籠り、ヤンウガミが八幡社から天王社まで往復します。

3 山本勘助の墓(長谷寺) 640m 8分
武田信玄の軍師として知られる山本勘助は、この寺の念宗和尚と親交があり、信玄に召し抱えられたとき遺髪を和尚に託しました。永禄4年(1561)、勘助が川中島の合戦で戦死した後、その死を悼み遺髪を埋めて建立したのが、五輪の墓です。また、長谷寺には、勘助の守護神であったとされる木造摩利支天尊像も安置されています。

4 牧野成定公廟 500m 6分
牧野成定は、牧野保成の後をうけて第2代牛久保城主となり、このころ今川方から徳川方に従うようになりました。永禄8年(1565)、家康が吉田城を攻めた際、成定は酒井忠次とともに今川方の説得につとめ、無血開城させたという武功をたて、家康の信任を得ました。嘉禎は貞享元年(1684)、成定の曾孫により建てられました。

5 善光庵 420m 5分
境内の広場南側に324体の石仏が7段の角錐状に並べられています。東側には石造三重塔、宝篋印塔、無銘塔、石塔が順に並んでいます。現在の塔は昭和48年に再建されたもので、庵の中には、江戸時代に造られたといわれる青銅製の弥勒菩薩の仏頭が安置されています。この仏頭は、市の文化財に指定されています。

6 牛久保のナギ(熊野神社) 780m 9分
熊野神社は戦国時代に牛久保城を築いた牧野氏が深く尊崇した神社で、J R 飯田線南側境内のナギの巨木は幹の周り3.5m、高さ20mもあります。ナギは、マキ科に属する暖地性の植物で、本州西部、四国、九州の山中に自生しています。この地方でこれほど大きく繁茂するのは珍しく昭和13年、国の天然記念物に指定されています。

7 牛久保城跡 460m 6分
享禄2年(1529)、今橋城主牧野成成の命を受けた一色城主牧野成勝により築城されました。扇状地の端に造られた平城で、南は下郷を一望でき、北には二重の堀をめぐらし、城を取り囲むように城下町がつくられました。元禄13年(1700)に廃城となり、当時の城の姿をとどめる遺跡は残っていません。

GOAL 牛久保駅(J R 飯田線)

ウォーキングコース 2

戦国武将コース

距離 8.5km
時間 1時間41分

START ▶ 1,600m 19分

1 牧野城跡 500m 6分
応永年間(1394~1427)に足利将軍義満の命により新補地頭となった田内(山口) 佐左衛門成富が四国の讃岐から三河国中条郡牧野村に來住し、城を構えました。現在、土塁が最大高さ5~6m、約30mにわたって残っています。土塁の南側には堀跡らしき窪地が数mの長さで確認できます。

2 さぬき屋敷公園 1,300m 16分
永正2年(1506)、牧野占白(成時)が今橋城(吉田城)を築いて移ると、牧野城主だった長男の能成は城を取り壊して新しく居館を構えました。一族の牧野康成が、徳川家康に從って上州大胡(群馬県)に移ってからも、能成の一族はこの屋敷に留まりました。現在は公園となり、門が残っています。

3 瀬木城跡 2,200m 26分
明応2年(1493)に牧野占白が牧野城につく居館として、また、河岸段丘の上へ進出する拠点として築きました。間もなく一色城に進出し、牧野城には長男能成を、瀬木城には二男の成勝を配しました。本丸と思われる所は一段高くなっており、現在は神社が祭られています。その周辺には高い土塁と広く深い堀が残っています。

4 一色城跡 160m 2分
大聖寺を取り巻くあたり一帯が城跡で、わずかに土塁が残っています。城は、永享11年(1439)、一色刑部少輔時家によって築かれました。文明9年(1477)時家は家臣の波多野全盛に殺され、全盛も明応2年(1493)、一色氏の旧臣・牧野占白に敗れ、以後、牧野氏の居城となりましたが、牛久保城が築かれたため、廃城となりました。

5 一色刑部の墓(大聖寺) 0m 0分
一色氏は足利氏の一門で、永享の乱(1438)のとき一族の一色刑部少輔時家は鎌倉を逃れ、一色城を築き、ここを拠点に下長山・牛久保など現在の豊川市を支配しましたが、家臣の波多野全盛に殺されました。現在、大聖寺には、一色刑部の墓と云われる五輪の塔があります。

6 今川義元公墓所(大聖寺) 280m 3分

7 八幡社 640m 8分

8 山本勘助の墓(長谷寺) 500m 6分

9 牧野成定公廟 1,200m 14分

10 牛久保城跡 120m 1分

GOAL 牛久保駅(J R 飯田線)

ウォーキングコース 3

豊川コース(とよがわ)

距離 9.7km
時間 1時間57分

START ▶ 420m 5分

1 豊川の河岸段丘と清水 2,300m 28分
豊川は全国有数の水質を保ち、山間渓谷部を急勾配で下った後、豊橋平野で蛇行を繰り返しながら、三河湾へ注ぎます。豊川市のある中流部では河岸段丘が発達し、下部から清水がこんこんと湧き出ています。段丘層から貝塚や石器が出土することから、古くから周辺が居住地となっており、清水は飲料水や灌漑用水となっていました。

2 豊川放水路ゲート 60m 1分
豊川は、かつてたびたび洪水を起こし、水害が流域に住む人々を苦しめてきました。そこで、豊川市行明町・柑子町から豊橋市前芝町へ通じる全長6.6kmの放水路が計画され、昭和18年に着手されました。しかし、戦争の拡大によってほとんど進展せず、ようやく昭和40年に完成し、永年の水害の苦しみから解放されました。

3 羽衣の松 1,900m 23分
豊川と豊川放水路の分岐付近にあります。「その昔、一人の天女が豊川で水浴びをしていたとき、通りかかった若者が岸辺の松にかけられた羽衣を持ち帰ってしまった。天女は、返してもらうために若者と結婚し、子供も生まれ幸せな毎日を送っていたが、ある日羽衣を見つけて天に帰ってしまった」という伝説が残っています。

4 霞堤 1,800m 22分
安土桃山時代の吉田池田輝政が造らせたといわれます。堤防にわざと「差し口」という切れ目をつくり、その背後にもう一つの堤防(霞堤)をつくり、川が増水するとそこから遊水池に水を流し込み洪水を防ぎました。また、この辺りでは、厳しかった水害の名残として、水屋と呼ばれる高い石垣の上に建てた家屋が見られます。

5 当古橋公園 300m 4分
当古の渡しは、代々当古の庄屋を勤めていた中山家が慶長年中(1566~1614)から渡船の御用を任せられたことにより始まりました。中山家の家数帳には現在公園となっていて、「中山家旧跡」の説明板と「中山家と当古の渡し」の碑や、船をイメージした遊具があります。

6 当古の渡し跡(当古橋) 220m 3分
本坂道を通って浜松方面と岡崎方面を行き来するときに豊川を渡すのが、当古の渡しです。昭和61年に竣工した新当古橋の上流左岸に堤防から川へ降りる道があり、この先が当古の渡しがあった場所です。運営は、中山家、当古村、愛知県と変わり、昭和9年にアーチ式の当古橋が架けられるまで続きました。

7 木板道(越街道) 2,700m 31分
姫街道とも呼ばれ、御油の追分で東海道と分かれ、八幡、諏訪、豊川を経て当古町に至り、豊川を渡り、本坂峠を越えて浜名湖北岸を通り、見附宿で東海道と合流する6.5kmの脇街道です。船着場から続く旧道は、家並みが残さず、狭い道に船頭宿の名残りである格子戸造りの家々が見えます。

GOAL 豊川駅(J R 飯田線)

ウォーキングコース 4

豊川稲荷と門前まちコース

距離 7.5km
時間 1時間31分

START ▶ 140m 2分

1 門前まち(観光案内所) 240m 3分
豊川稲荷の門前町として発展し、土産物店や飲食店を中心に100軒を超える商店が軒を連ねています。また、近隣市町の観光パンフレットなどを取りそろえた観光案内所もあります。豊川稲荷の参拝とともに門前町の風情も楽しんでください。途中には長寿のご利益がある薬師如来堂があります。

2 豊川稲荷 320m 4分
豊川稲荷は、妙峯寺の境内に鎮守として祭られた「豊川吒枳尼真天」の通称です。およそ600年前の室町時代に開創され、織田信長、渡辺軍山などの武人、文人の信仰を集めました。江戸時代には、庶民の間で高亮繁盛、福徳開運の神として全国に信仰が広まりました。日本三大稲荷とされ、年間数百万の参拝者が訪れます。

3 豊川進雄神社 60m 1分
進雄命(すさのおのみこと)を祭っています。明治時代以前は豊川牛頭天王社と呼ばれ、豊川村の産土(うぶすな)の神として広く信仰されてきました。進雄神社の祭礼である豊川夏まつりは、三河伝統の手筒・大筒・からくり・綱火が奉納されます。特に綱火は有名で、県の無形民俗文化財に指定されています。

4 徳城寺 2,500m 30分
曹洞宗の寺で境内にお堂の中には、深さ1mほどの井戸があり、旅の途中の弘法大師が持っていた錫杖で指し示した場所を掘ると、水がこんこんと湧き出し、日照りにも湧れることがなかった、という伝説が残っているため、「錫杖井戸」と呼ばれ、多くの人の信仰を集めています。

5 みらびき不動(養学院) 820m 10分
三河三不動堂場、第三霊場の転法輪山養学院で本尊をみらびき不動明王・宗祖弘法大師・派祖理源大師・大峯開山神安大菩薩を祭っています。御殿山上のみらびき不動は身の丈3mの尊像で、人々の願いにしたがって舌を抜き舌を与えてくれます。

6 玉林寺のクス 3,000m 36分
樹齢600年以上と推定され、目通り8.63m、接地根回り19.30mに及ぶ巨木です。樹冠の広がりは18mもあり、樹勢は極めてさかんです。玉林寺が創設された延徳3年(1491)には既に樹齢100年を経過していたこととなります。昭和43年に市の天然記念物に指定されています。

7 三明寺 420m 5分
文武天皇の詔を受けて建立された寺で、三河の国司であった大江定基が力寿庵の死を悼み寄進したと伝えられている弁財財が本堂内の宮殿に祭られています。享禄4年(1531)に建てられた三重の塔は、第1層と第2層が和様、第3層が唐様になっており、全国的にも珍しく、明治40年に国の重要文化財に指定されています。

GOAL 豊川駅(J R 飯田線)

ウォーキングコース 5

平和コース

距離 6km
時間 1時間15分

START ▶ 740m 9分

1 諏訪墓地 1,400m 17分
豊川海軍工廠は、当時、東洋一の軍需工場といわれました。昭和20年8月7日、米軍のB29の爆撃を受け、2,500人以上の人々が亡くなりました。県営住宅横の一角にある諏訪墓地には、豊川海軍工廠の爆撃で亡くなった学徒動員、工廠従業員の墓と慰霊碑が並んでいます。

2 豊川工業団地 180m 2分
かつて豊川海軍工廠があった場所は、現在、工場や陸上自衛隊駐屯地、名古屋大学太陽地球環境研究所になっています。豊川海軍工廠の正門であった日本車輛の門や区画された道路などに当時の面影が残っています。また、太陽地球環境研究所の敷地内には、当時の建物や250kg爆弾によりできた大きな穴などが残っています。

3 平和の像とケヤキ並木 220m 3分
豊川海軍工廠の爆撃で亡くなった人々の霊を慰めるため、昭和40年に建てられました。大理石と御影石の4mの台座の上にそそり立つ3mの乙女の像は、天平時代の女人をかたどったもので、深い哀愁の中に平和への祈りをこめた悲しくも尊い姿をしています。また、道の両側のケヤキ並木は豊川海軍工廠の開庁記念に植えられたものです。

4 桜トンネル 2,000m 25分
豊川運動公園一帯にある桜は、昭和16年春、豊川海軍工廠の開庁記念に植えられたもので、その数はおよそ500本あり、道の両側に桜が連なることから桜トンネルと呼ばれています。春には、みごとに咲き誇り、桜まつりが開かれ、多くの人々でにぎわう桜の名所ともなっています。

5 桜ヶ丘ミュージアム 620m 8分
古代から現代までの郷土の歴史を系統的に展示している郷土資料展示室や、美術展などを開催する市民ギャラリーがあります。郷土資料展示室では、豊川海軍工廠に関する資料も展示しています。

6 供養塔 460m 6分
終戦を迎え、豊川海軍工廠の爆撃で亡くなった人々の冥福を祈ろうと、豊川工廠従業員生存者会の手により供養塔が建立されました。塔中には戦死者名簿と工廠の土を納め、台座周囲には、戦死者氏名を刻んだ石版を組みこんでいます。

7 豊川稲荷 240m 3分

8 門前まち(観光案内所) 140m 2分

GOAL 豊川稲荷駅(名鉄豊川線)

桜ヶ丘ミュージアム
〒442-8601 豊川市諏訪一丁目1番地
TEL:0533-99-2140 FAX:0533-99-2125
HP: http://www.city.toyokawa.lg.jp
E-mail: shokoku@city.toyokawa.lg.jp



HONOKUNI WALKING MAP

穂の国 ウォーキング マップ

〈豊川市東部地区編〉



6 ウォーキングコース 距離 11.6km 時間 2時間19分 お花見コース	START 諏訪町駅(名鉄豊川線)	1 桜トンネル 680m / 8分	2 開運橋(佐奈川) 1,120m / 13分	3 ふれあい公園・であい橋 1,000m / 12分	4 開運橋(佐奈川) 1,000m / 12分	5 堺橋 3,000m / 36分	6 開運橋(佐奈川) 3,000m / 36分	GOAL 諏訪町駅(名鉄豊川線)
--	-------------------	----------------------	----------------------------	-------------------------------	----------------------------	----------------------	----------------------------	------------------

1 距離 3.7km だいたい15分	1 牛久保のまちコース
2 距離 8.5km あお15分	2 戦国武将コース
3 距離 9.7km みどり15分	3 豊川コース
4 距離 7.5km あおみどり15分	4 豊川稲荷と門前まちコース
5 距離 6km せい15分	5 平和コース
6 距離 11.6km むらさき15分	6 お花見コース

豊川市東部地区の主な祭り

1 豊川市桜まつり 豊川運動公園をとりまく桜トンネルと佐奈川・音羽川沿いで行われ、期間中は夜間照明が行われます。また、桜トンネルには多くの屋台が並ぶほか、ウォークラリー、写真コンクールなどの催しがあります。	2 若葉祭(うなごうじ祭) 山車4台、笹踊り、ヤンヨウガミが勢ぞろいし、八幡社から御旅所の天王社まで往復します。囃子方のヤンヨウガミが能踊りの歌に合わせて、ところ構わず「うじ虫」のように寝転がることから「うなごうじ祭」と呼ばれるようになったといわれています。天下の奇祭として有名で、愛知県の無形民俗文化財に指定されています。	3 豊川市民まつり「おいでん祭」 春の市民まつりとして、豊川市野球場をメイン会場に、総合体育館前のイベント広場、再開発ビル「アリオ」などで、恒例のフリーマーケットや子どもふたダビー、キャラクターショー、苗木の無料配布などの楽しい催しが数多く行われます。また、多数のよさこい踊りチームが参加する「よさこい1Nおいでん祭」で祭りが盛り上がります。	4 豊川夏まつり 豊川進雄(すさのお)神社の祭礼で、手筒煙火、大筒煙火、山車、神輿渡御、笹踊りなどの行事があります。煙火は400年以上の歴史を誇る、中でも、参道の上を電光のように走る「綱火」は、独特の煙火で、愛知県の無形民俗文化財に指定されています。	5 みたま祭り 昭和20年8月7日の「豊川海軍工廠」の爆撃により多くの尊い命が失われました。この霊を慰めるための盆踊り会で、豊川稲荷の境内と、豊川駅前で大に行われます。	6 豊川市民まつり「豊川手筒まつり」 夏の市民まつりとして、市内各地の祭礼で古くから行われている「手筒煙火」を一同に集めたイベントです。豊川運動公園を会場に、市民総おどりで始まり、手筒煙火、大筒煙火、住掛け花火、打上げ花火などが次々と放揚され、2時間にわたって夏の夜空を焦がす火の祭典です。	7 豊川稲荷春季大祭・秋季大祭 春と秋に行われる例大祭で、御輿渡御や稚児行列などのほか、さまざまな催しがあります。秋季大祭は、境内に高さ10m・直径5mの対の大提灯が掲げられるため「大提灯まつり」とも呼ばれ、夕間とともに点灯されるその姿は実に幻想的です。また、門前まちでも軒下板市やストリートパフォーマンスなど楽しいイベントが開かれます。
日時 3月下旬～4月上旬 場所 桜トンネル・佐奈川・音羽川・御津山	日時 4月7・8日に近い土・日曜日 場所 八幡社	日時 5月第4土・日曜日 場所 豊川運動公園	日時 7月中旬の金・土・日曜日 場所 豊川進雄神社	日時 8月7日・8日 場所 豊川稲荷・豊川駅前	日時 8月第4土曜日 場所 豊川運動公園	日時 5月4日・5日/11月22日・23日 場所 豊川稲荷